

抗血栓薬とテント上脳内出血の関係についての研究のご説明

(1) 研究の意義（背景および目的）

脳卒中には脳梗塞、脳内出血およびくも膜下出血があります。その中の脳内出血は脳卒中の中でも予後が悪く、死亡率も高い疾患です。この脳内出血に対する効果的な内科的治療は、発症率を下げ、発症後の悪化を抑制し、死亡率を下げることです。それには脳出血の発症・悪化・死亡の誘因を調べ、それらの誘因を取り除く必要があります。一方、一般に血をさらさらにする薬と呼ばれている抗血栓薬は、脳内出血発症の因子であり、死亡とも関連があります。

そこでこの研究では、抗血栓薬が、大脳に起こった脳内出血（テント上脳内出血）にあたる影響をしらべ、テント上脳内出血の死亡に抗血栓薬が関与しているかを調べます。

(2) 研究の対象となる方へのお願い

この研究の対象となるのは、2004年4月から2009年3月まで、病気になってから24時間以内に当院脳卒中センター（脳卒中科もしくは脳神経外科）に入院された大脳に起こった脳内出血（テント上脳内出血）の患者さんです。くも膜下出血の方、外傷や腫瘍による脳内出血の方、もやもや病の方、小児や妊娠中であった方は除きます。

研究ではカルテより必要な情報を抽出し、そのデータを解析し、スコアを作成します。そこで、対象となる方には情報の使用を承諾して頂きたいと存じます。（承諾される場合はご連絡不要です）。

承諾されない場合は下記の研究担当者に本人の情報を使用しないでほしいと、ご連絡をお願いします。ご連絡があった場合、データからその方の情報を削除します。なお、この場合でも、今後当院で受ける診療・治療に変更はありません。

(3) 個人情報（個人を特定できる情報）の保護の方法と情報の廃棄

カルテから情報を抽出した後は、データ内から個人を特定できる情報を削除し、解析を行います。また、研究の成果は学会や学術雑誌で発表しますが、この中に個人を特定できる情報は一切含まれません。また研究が終了した際に、データは廃棄されます。

(4) 検査・薬剤等の費用負担や当院からの謝礼、ご本人への直接的な利益

ありません。

(5) 研究実施担当者の氏名・職名、連絡先

担当者：山下眞史 川崎医科大学附属病院 脳卒中科 医師

連絡先 e-mail : yamashin@med.kawasaki-m.ac.jp

電話：086-462-1111（代表）

FAX：086-462-1128（脳卒中医学研究室）